



豊饒の地、庄内から

山形県庄内総合支庁広報誌

庄内 総合支庁ニュース

(偶数月に発行します)

令和7年

4 月号

新任あいさつ 庄内総合支庁長 荒木泰子

庄内総合支庁長就任にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

庄内地方は、山と海に囲まれ広大な平野が広がる自然豊かな地域で、出羽三山信仰や修験道にみられる精神文化、北前船交易による港町文化や庄内藩が育んだ城下町文化、四季折々の多彩な食材と歴史・風土が育んだ食文化など、魅力に溢れた地域です。私は、庄内地域での勤務は初めてですが、地域発展、地方創生のため、関係者の皆様方と一緒に頑張ってまいります。

今年度の庄内総合支庁の重要課題は、第一に昨年7月の大雨災害からの一日も早い復旧・復興です。市町や関係機関の皆様と連携して、被災施設の復旧・復興、被災された皆様の健康管理やなりわい再建に向けた支援にしっかりと取り組んでまいります。また、「若者・女性の地元定着・回帰促進」に向け、早い段階からの郷土愛醸成に取り組むほか、「妻ターン」の促進に向け、情報発信を強化してまいります。さらに、「やまがたフルーツ150周年」、「ラーメン県そば王国やまがた」のPR強化、インバウンドの拡大、洋上風力発電の推進、東北公益文科大学の公立化に向けた準備と機能強化の検討、日治道等の整備促進などに取り組んでまいります。

庄内総合支庁としましては、組織内の横の連携はもちろんのこと、地域の皆様、市町、関係団体の皆様と力をあわせ、地域の発展、活性化に向けて全力で取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



地域の課題に柔軟かつ迅速に対応していきます！

～ 令和7年度組織の主な改正 ～

昨年7月、庄内・最上地域を中心に過去に類を見ない豪雨災害に見舞われました。この災害からの早期復旧・復興を目指し災害復旧事業を迅速かつ円滑に進めるため、河川砂防課内に「**庄内地域豪雨災害復旧対策室**」を新たに設置し、職員を7名配置しております。このほかの災害対応にあたる農村整備課、森林整備課、用地課、道路計画課にも職員の増員を図り、地域住民の皆様が安心して生活できる環境整備の早期実現に向けた体制を整備しております。また、洋上風力発電をはじめ新たなエネルギー関連産業の振興に向け、「**庄内北部新エネ産業振興室**」を設置しました。今後とも、地域の課題に柔軟かつ迅速に対応するため全庁挙げて取り組んでまいります。

総務課 職員担当 ☎ 0235-66-5414

食の都庄内交流会を開催

～ Cheer!! 「食の都庄内」を舞台に輝く人からあなたに ～

「食の都庄内」づくりの取組みが20周年を迎えたことから、次世代の「食の都庄内」づくりを担う関係者の交流拡大と、活躍する姿を情報発信するため、3月10日に「**食の都庄内**」交流会を開催しました。

交流会では、「食の都庄内」親善大使から講演と次世代を担う関係者へのエールを頂戴しました。その後のトークセッションでは、鶴岡市「サスティナ鶴岡」代表 齋藤翔太さん、庄内町「はらぺこファーム」代表 高橋紀子さん、酒田市「レストランNico」オーナーシェフ 太田舟二さんが登壇し、庄内の食に関するそれぞれの取組みをお話いただき、その後、登壇者などが調理した料理や加工品を試食し、出席者同士の交流を催しました。参加者からは「庄内が食材の宝庫だと再認識した」「食文化を継承し、更にこどもたちにもつなげていきたい」など感想が寄せられました。引き続き、「食の都庄内」づくりの次世代への継承に向けて取組みを展開していきます。

地域産業経済課 農産物利用拡大・調整担当 ☎ 0235-66-5490



令和7年度 各部の取組み

総務企画部

総務企画部長 黒木 幸治



頻発化・激甚化している自然災害等に備え、危機管理や防災対策を強化するとともに、若者や女性の回帰定着を促進し、活力あふれる地域コミュニティを形成するため、郷土愛やシビックプライドの醸成につながる事業を積極的に展開してまいります。また、「おいしい庄内空港」の国際化も見据え、更なる利用拡大に取り組んでまいります。

◇航空ネットワーク拡充事業

庄内-羽田線は、令和5年度に**期間増便による5便運航が実現**し、増便期間中の旅行商品の造成支援や、課題である早朝便・冬季間、乗継利用を促進するためのキャンペーン等に重点的に取り組んだ結果、令和6年度の利用者数は前年比4.4%増加となり、コロナ禍以前の令和元年度の97%まで回復しております。

これらの取組みが評価され、令和7年度上期ダイヤにおいても、3月30日から5月31日まで及び10月1日から25日までの増便運航が決定しています。

庄内-羽田線は、庄内地域にとってビジネスや観光等の交流拡大のために極めて重要な高速交通基盤です。引き続き、早朝便・冬季間の利用促進、増便による羽田乗継の利便性向上のPR、国内外からの観光誘客に重点的に取り組むなど、通年5便化を目指して庄内地域一丸となって取り組んでまいります。



総務課連携支援室 ☎ 0235-66-5440

◇庄内地域転入促進事業

県外から庄内への転入促進を図るため、妻が庄内出身者で他県での生活を経て転入する「妻ターン」の例が多いことを踏まえ、女性を対象とした**オンライン移住セミナー**を開催しています。令和6年度は、「庄内の食に惹かれ移住」「庄内でしたいことを叶えた移住」をテーマに開催しました。令和7年度は、地元庄内へのUターン意向を有する女性にターゲットを絞り、先輩Uターン者の経験談等を発信します。

また、県外に進学した大学生等の将来のUターン促進を図るため、都市部の大学生等を対象としたイベントを開催しています。令和6年度は、新潟県在住の庄内出身学生を対象に、庄内にUターンした先輩社会人の経験談等を、芋煮を囲み交流を深めながら聞けるスタイルのイベントを開催しました。令和7年度も引き続きこうした機会を創出することで、ふるさと回帰の促進を図っていきます。



総務課連携支援室 ☎ 0235-66-5446

◇若者「庄」学校の取組み

若者の地元定着・回帰の土台となる郷土愛の醸成を図ることを目的に、「若者『庄』学校」を開講しています。令和6年度は、小中学生とその保護者を対象に、庄内の自然を題材にした体験講座「サタデー探検隊」と、高校生を対象に、地域で活躍する若者と交流しながら地域を探訪し魅力を発見する「若者『庄』学校フィールドワーク」を開催しました。

「サタデー探検隊」は、鳥海丸乗船や牛渡川でのカヌーツーリング、天然記念物の巨木の観察などを親子で体験することで、庄内の魅力である「海、川、山」を体感してもらう企画で、参加した親子からは、「地元にいながら知らないことばかりだった」などの感想が寄せられています。また、「若者『庄』学校フィールドワーク」では、庄内の地域特性に着目し、「庄内の明日を、水辺から」をテーマに上流から庄内浜に至るまでの水の流れを辿りました。海岸漂着物（海ゴミ）を活用してフォトフレームや流木ルアー制作を行いました。参加した高校生にとっては、楽しみながら地域課題にアプローチすることを知ってもらう機会となっています。

令和7年度も引き続き、市町や学校の関係者と連携しながら、若者が地元の良さや魅力を発見し、体験できる学びの機会を提供し、若者の郷土愛の醸成を促していきます。



鳥海丸乗船体験

総務課 企画調整担当 ☎ 0235-66-5417

保健福祉環境部

保健福祉環境部長 吉田 正幸



住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けることができるよう、保健・医療・介護・福祉の連携を推進するとともに、結婚・子育てを支援してまいります。また、豊かで美しい庄内の環境を将来の世代にしっかりとつないでいくための取組みを進めてまいります。



医療監(兼)庄内保健所長 森 福治

災害や新たな感染症などの有事には、二次医療圏ごとの保健・医療・福祉の連携と総合調整の一端を保健所が担うことになります。平時の事業や会議等を通じて、地域の関係機関の皆様と顔の見える関係づくりを進めていきます。

◇障がい者就労事業所等認知度向上事業

～「こしゃたなマルシェ」と「ノウフランチ」の開催～

障がい者の社会参画促進と工賃（賃金）向上を目的として、標記事業を開催しています。取組みの一つである「こしゃたなマルシェ」では、地域の高校生とも連携し、障がい者就労事業所製品等事業所で製作したスイーツや木工製品などの販売会を開催しています。また、「ノウフランチ」では、事業所で育てた旬の農作物を使ったランチを期間限定で提供しています。

令和7年度は、販売力の強化を図るため、事業所を対象として販売スキルを学ぶ勉強会や地域内外の新たな取組み等を学ぶ研修会を開催します。これらの取組みにより、一層の製品の認知度向上、福祉への理解促進、工賃向上を図り、庄内地域における障がい者の就労を通じた社会参画を促進してまいります。

地域保健福祉課 地域福祉支援担当 ☎ 0235-66-5654



◇庄内地域動物愛護事業の取組み

～ 庄内地区動物愛護センターの開所 ～

令和7年4月、庄内地区における動物愛護の拠点として三川町内の庄内総合支庁分庁舎（三川町大字横山字袖東7-1）敷地内に「庄内地区動物愛護センター」を開所しました。

動物愛護センターは「山形県動物愛護推進計画」に基づき、収容動物の譲渡や愛護活動の啓発をより一層推進するための施設となります。そのため、猫専用の保護室を設けたほか、適正飼養講習会や譲渡動物のマッチング等に利用できる多目的室を設けました。また、令和7年秋には動物愛護の一層の普及を図るため、一般の方を対象とした動物愛護に関するセミナーや動物の譲渡会を開催します。

生活衛生課 乳肉衛生管理担当 ☎ 0235-66-5662



◇庄内地域結婚支援活動促進事業

庄内地域の婚姻件数は年々減少し、令和5年は698件と、平成26年の1,130件から約38%減少しています。

このような状況に歯止めをかけるため、庄内総合支庁では仮想空間を利用した「メタバース婚活♥in庄内」を昨年度初めて開催したほか、イオンモール三川においてブライダル事業者や化粧品メーカーの協力をいただいて実施した庄内地域合同・結婚相談会、市町と連携したボランティア仲人の人材育成基礎講座の開催など、結婚を希望する方の出会いの機会を拡大するための取組みを実施してきました。

今年度も市町や関係機関と連携し、メタバース婚活、結婚相談会等のイベントやボランティア仲人育成講座を開催し、出会いの機会拡大に向けて取り組みます。

こども家庭支援課 子育て支援・女性青少年担当 ☎ 0235-66-5457



令和7年度 各部の取組み

産業経済部

産業経済部長 安藤 詠子



被災した農地・農業用施設の早期復旧に全力で取り組むとともに、高温少雨等の温暖化に対応した生産技術の普及に努めます。また、「フルーツ150周年」を契機とした「食の都庄内」の更なるブランド化の推進や、庄内が誇る「精神文化」をはじめとする地域資源を活用した各種ツーリズムを推進し、交流人口の拡大を図ります。

◇「やまがたフルーツ150周年」の取組み

～ フルーツの集中プロモーションを展開 ～

県では、今年度が県内でさくらんぼや西洋なし等の栽培が始まってから150年に当たることから、県民の皆様にも県産フルーツの魅力を再認識していただくとともに、県産フルーツの魅力を県内外や海外に広く情報発信し、フルーツによる取組みを通じた地域活性化を図る「やまがたフルーツ150周年事業」を実施します。

「食の都庄内」では、公式HPで新たに、イチゴ、メロン、ぶどう、和梨、柿といった多彩な庄内産フルーツの魅力を発信するほか、産直施設や観光果樹園等の情報も掲載していきます。加えて、SNSとも連動し、旬な情報を発信することで、認知度向上と交流・関係人口の創出につながる取組みを展開していきます。

地域産業経済課 農産物利用拡大・調整担当 ☎ 0235-66-5725



いちずに、かじつ。

150th
YAMAGATA FRUITS



◇情報発信とコンテンツ造成によるインバウンド誘客の拡大

観光分野では、全国的にインバウンドが好調で、令和6年度は訪日外国人数が過去最多を更新しました。庄内地域にもその流れを呼び込むため、海外のインフルエンサーを招いて庄内の魅力を取材・発信してもらうファムトリップを実施し、情報発信を強化し誘客拡大を図ります。

また、滞在型観光の推進を図っていくため、欧米豪を中心に人気があるアドベンチャートラベル（アクティビティ、自然、文化体験のうち2つ以上で構成する旅行）を推進し、地域資源を活かした体験型観光コンテンツの造成・磨き上げを支援していきます。

地域産業経済課 観光振興室 ☎ 0235-66-2126



◇気候変動に対応した水稻の高品質・良食味・安定収量に向けた取組み

～ 水田土壤環境の改善と「スマートつや姫」で立ち向かう ～

令和5年は、8月の記録的な高温のため庄内地域の米の品質は大きく低下しました。一方、令和6年は、生産者や関係機関が品質回復に努め、一等米比率は例年並みの高い水準となったものの、7月の大雨などが影響し、作況（収量）は94となりました。どのような気象でも高品質で良食味な米を安定的に生産していくためには、生育量確保に向けた水田土壤環境の改善と、生育に応じた適期管理が重要です。そのため、実証圃の生育・土壌データを「見える化」し、適切な水管理等の徹底を呼びかけることで、水田土壤環境の改善を図るとともに、生育に応じた適期管理を行うため、管内全ての「つや姫」「雪若丸」「はえぬき」圃場の生育予測等が可能な衛星リモートセンシング技術「スマートつや姫」の普及に取り組みます。

農業技術普及課 作物担当 ☎ 0235-64-2103



建設部

建設部長 小林 雅史



令和7年度における建設部の事業としては、令和6年7月豪雨からの早期復旧に向け、防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策などの社会資本の整備や高規格道路の整備促進のためセミナー開催を進めます。また、庄内を支える建設業への若者就業促進事業等を通じて建設業に従事する人材の確保を目指します。

◇豪雨災害からの復旧・復興に全力

令和6年7月の大雨では、山形県が管理する道路及び河川管理施設等に甚大な被害を受けました。荒瀬川をはじめ、一般国道344号や一般県道鳥海公園青沢線等の道路及び河川管理施設等において、計196箇所が被災しました。

特に被害の大きかった荒瀬川（酒田市）については、令和7年1月15日に国土交通省より「災害復旧助成事業」の採択を受け、河道拡幅や河道掘削等を行っていきます。



豪雨災害からの早期復旧に向け、3月末時点で48箇所の災害復旧工事に着手しております。また、災害復旧事業を迅速かつ円滑に推進するため、4月から河川砂防課内に『庄内地域豪雨災害復旧対策室』を新設しました。引き続き、災害復旧工事等の円滑な実施のための取組みを進め、被災した道路・河川等の早期の復旧を目指します。

災害復旧工事進捗状況

建設総務課 事業調整担当 ☎ 0235-66-5723

◇安田バイパスが今年の10月に開通します

庄内総合支庁が平成27年度から事業を進めている安田バイパス（延長3.1km）が令和7年10月初旬に全線供用される予定です。まずは車道部のみの供用となりますが、地域の皆様に長年望まれたバイパス道路が一つの形となります。完成に向けて引き続き、安全第一で工事を進めてまいります。



道路計画課 道路整備担当 ☎ 0235-66-5604

高齢者施設等で感染対策を担うリーダーを養成

高齢者施設及び障がい者施設等における感染症の持ち込みと発生時の感染拡大を防止することを目的に、施設内において感染症対策の中心となって活動できるリーダーを養成するための研修会を地域の医療機関（感染管理認定看護師）と連携し、令和6年度初めて開催しました。

研修会では、①「標準予防策（手指衛生・マスク・エプロン・手袋の着脱）について」、②「食中毒対策及び感染症発生時の対応について」、③「ゾーニング・換気について」、④「オムツ交換・吐物処理について」の全4回を受講した33名に修了証を発行しました。

受講者からは、「感染管理認定看護師にアドバイスを受ける良い機会になった」「自施設の課題が明確になったので取り組んでいきたい」などの感想がありました。

保健企画課 感染症対策担当 ☎ 0235-66-4920



「緑のプレゼント」を2箇所で開催！

◆眺海の森

眺海の森のオープンに合わせてキンモクセイの苗木をプレゼント！春の山野草が咲き誇る眺海の森にぜひお越しください

日時：4月29日（火・祝）9:00～10:00

場所：酒田市「眺海の森」森林学習展示館前
先着順100本

◆エスモール

令和7年5月10日（土）の13時から、鶴岡市の「エスモール」でブルーベリーの苗木をプレゼントします。詳しくは県ホームページ等でお知らせします。庄内を緑いっぱいにしましょう！

森林整備課 林政企画担当 ☎ 0235-66-5526

山火事予防運動実施中！

春は乾燥しやすく、風が強く吹くことが多いため、山火事が発生しやすい時期です。このため、県では4月・5月を山火事防止活動の実施期間として、山火事予防対策に取り組んでいます。「枯れ草などがある場所ではたき火をしない」、「強風時、乾燥時にはたき火、火入れをしない」など、山火事を防ぐ心がけをお願いします。



森林整備課 普及担当 ☎ 0235-66-5537

誰でも利用できる支庁内の便利な施設

庄内総合支庁には売店、食堂、理容所があり、どなたでもご利用いただけます。売店ではパンやお弁当のほか、切手・県証紙の販売、淹れたてのコーヒーが飲める自動販売機もあります。食堂ではラーメン等の定番メニューやバランスのとれた定食も人気です。理容所は男女とも利用できます。

みなさんのご利用をお待ちしています。



総務課 職員担当 ☎ 0235-66-5564

不法投棄防止で美しい庄内を

5月は「不法投棄監視及び海岸漂着ごみ削減強化月間」です。道ばたや野山に捨てられたごみは、美しい庄内の景観を壊します。また、海にも流れ、やがて海岸を汚してしまいます。

総合支庁では市町・警察と合同で不法投棄のパトロールを実施します。不法投棄を見つけた方は、総合支庁やお住まいの市町までご連絡ください。



環境課 廃棄物・海岸漂着物担当 ☎ 0235-66-4914

発行／山形県庄内総合支庁 総務企画部総務課 総合案内窓口

〒997-1392 山形県東田川郡三川町大字横山字袖東19-1 TEL:0235(66)5598 FAX:0235(66)2835

山形県ホームページ
庄内総合支庁ニュース



山形県庄内総合支庁
公式Instagram



山形県庄内総合支庁
公式Facebook

